

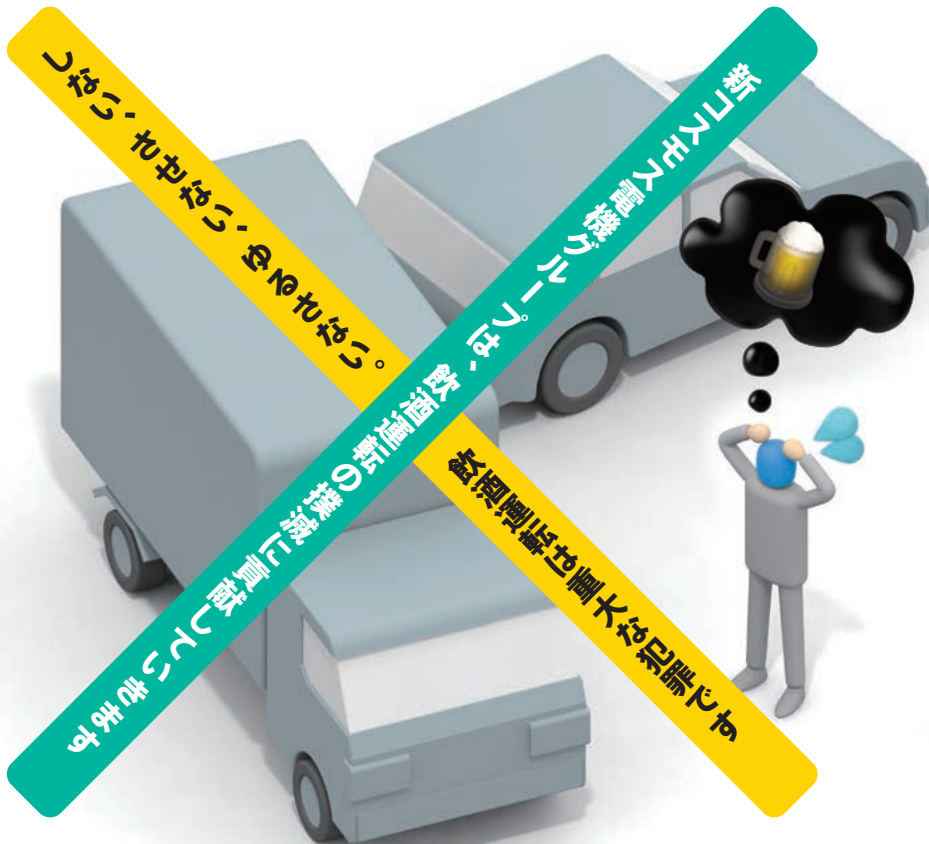


新コスモス電機株式会社
NEW COSMOS ELECTRIC CO., LTD.

世界中のガス事故をなくし、世界中の人を笑顔にする

スズキ通信 vol.8

第65期(2023.4.1-2023.9.30)



フーゴスマートBt(+アプリ) FALC-31ap

アルコール検知器
フーゴシリーズ

トップメッセージ



“グローバルかつサステナブルな
視点で事業に取り組み、
さらなる飛躍への挑戦を続ける”

代表取締役社長

高橋良典

Yoshinori Takahashi

「中期経営計画2022-2024」の 折返し地点となりました

新型コロナウイルス感染症が収束し、ポストコロナ時代に入りました。不安定な国際情勢や為替相場は続いているものの、国内の経済はゆるやかな回復傾向となっています。当社グループにおいてもポストコロナの働き方を模索しつつ、10月には4年ぶりとなる社員旅行を実施するなど様々な面でコロナ前の日常が戻りつつあります。

私たちの目指す姿

新コスモス電機グループは、「センシング技術とサービスで世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦する」を使命に掲げ、事業を展開しております。また、「世界中のガス事故をなくす」を大目標として掲げ、中期経営計画では特にグローバル展開とサステナビリティへの取り組みを推し進めています。

グローバル展開では、拠点の整備として2023年はパリ事務所の開設と台湾事務所の現地法人化を行いました。また北米における電池式メタン検知器は引き続き好調です。

中期経営計画 2022-2024



定性目標

「新たな挑戦、新たな価値創造に取り組み、持続可能な成長軌道を歩むための第一歩」と位置づけ、「お客様に選ばれ社会に役立つ新コスモス電機グループ」を目指す



定量目標

売上高
2024年度
450 億円以上

海外売上高比率
2024年度
40 %以上

営業利益率
12 %以上を目指す

サステナビリティへの取り組みとしては、グループ会社であるフィガロ技研製のアルコール検知器「フーゴシリーズ」の販売を通じて飲酒運転撲滅に貢献したいと考えております。アルコール検知器を用いてのアルコールチェックの義務化がいよいよこの12月よりスタートします。昨年の道路交通法施行規則の改正により新たに義務化対象となった事業所様を中心に現在営業活動に力を入れています。

2023年度上半期の成果

2023年度の上半期を終えて、「中期経営計画2022-2024」は折返し地点を迎えました。当社グループの第2四半期決算は増収減益という結果となりましたが、中期経営計画は順調に推移しております。

内容としましては、昨年度に引き続き海外市場での家庭用電池式メタン警報器および海外のエレクトロニクス業界向け定置式ガス検知警報器の販売が好調でした。さらに、国内の都市ガス業界向けの携帯用ガス検知器の販売が増加しました。また、メンテナンス・サービスの売り上げも堅調に推移し、売上高は182億6百万円と前年同四半期比1.0%の増収となりました。利益につきましては、営業利益は19億2千万円と前年同四半期比33.9%減、親会社株主に帰属する当期

純利益は12億1千5百万円と前年同四半期比37.6%減となりました。

2023年度通期の見通し

依然として世界情勢は先行きが不透明な状況が続いていますが、2023年度通期の計画は、期初に発表した通り売上高412億9千4百万円、経常利益50億1千4百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は28億6千2百万円としております。グループ一丸となりこの計画達成に取り組んでまいります。

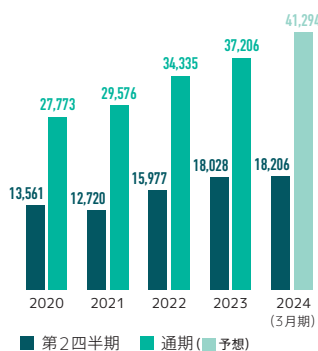
株主還元

当社の株主還元の基本方針は、「業績ならびに今後の事業展開等を総合的に勘案して安定的かつ継続的な配当を行うこと」です。株主還元は年に1回配当金での還元を行っており、2023年度については47円の配当を予想しております。

残り半分となった「中期経営計画2022-2024」を達成できるようグローバルかつサステナブルな視点で事業に取り組み、さらなる飛躍のための挑戦を続けてまいります。株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

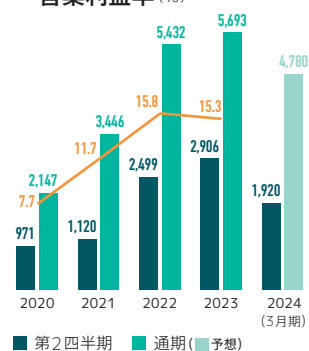
業績ハイライト

■ 売上高 (百万円)



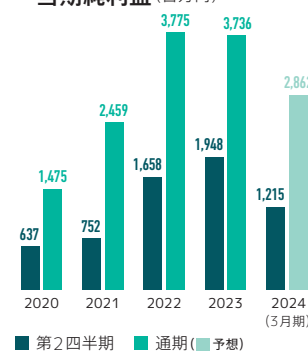
■ 営業利益 (百万円)

— 営業利益率 (%)

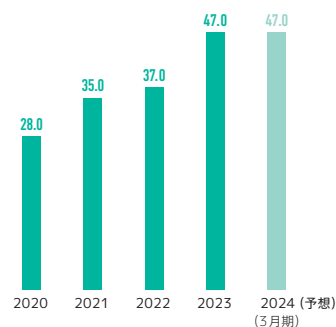


■ 親会社株主に帰属する

当期純利益 (百万円)



■ 1株当たり配当金 (円)



※ 2021年3月期は記念配当 (5円) を含む

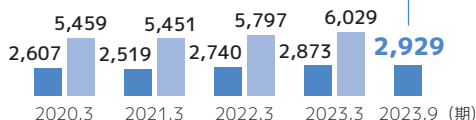
セグメント別の成果

業務用携帯型ガス検知器関連

携帯型ガス検知器は、爆発事故防止や酸欠・中毒事故防止のため、ガスを扱うあらゆる現場で使用されています。小型・軽量化や通信機能を搭載したものなど作業者の使いやすさを考慮して開発しています。



● 売上高推移 ■ 第2四半期 ■ 通期
(単位: 百万円)



2,929 百万円 +2.0 %

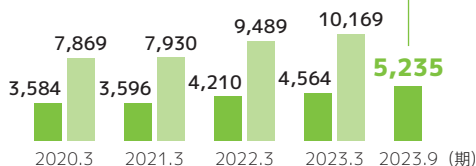
▶ 主に国内市場の都市ガス業界向けガス検知器の販売が堅調に推移しました。また、メンテナンスサービスも堅調に推移したことから、売上高は2,929百万円(前年同四半期比2.0%増)となりました。

工業用定置式ガス検知警報器関連

LNG・LPG基地、石油化学プラント、半導体製造工場、水素ステーションなどガスを扱う現場では、安全管理が不可欠です。お客様のニーズにお応えするため、ガス検知部と警報器が一体型になったコンパクトなものから数千点のガス検知部を監視する大型システムまで、現場に応じた最適なシステムを提案しています。



● 売上高推移 ■ 第2四半期 ■ 通期
(単位: 百万円)



5,235 百万円 +14.7 %

▶ 主に海外市場のエレクトロニクス業界向けの販売が好調に推移しました。また、メンテナンスサービスも堅調に推移したことから、売上高は5,235百万円(前年同四半期比14.7%増)となりました。

その他

ニオイの強弱を数値化する「ニオイセンサ」、換気扇の運転をコントロールして冷暖房の省エネに貢献する「換気扇コントローラ」。どちらもガスセンサの応用から生まれました。独自のガスセンサ技術により、日々新しい可能性を追求しています。



ニオイセンサ



換気扇コントローラ



家庭用ガス警報器関連

ご家庭の台所で万が一のガス漏れや不完全燃焼により発生する一酸化炭素を検知してお知らせする家庭用ガス警報器や、リビングや寝室などで火災による煙や一酸化炭素を検知してお知らせする住宅用火災警報器を展開。熱中症になりやすい環境や空気の乾燥をお知らせする機能を搭載した商品やインターネットとつないでご家族の見守りを可能にした商品などラインナップを充実させています。



【LPガス用】ガス警報器



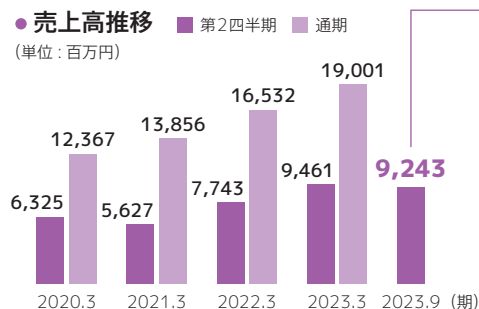
一酸化炭素検知機能付き
火災警報器



【電池式 都市ガス用】
住宅用火災・ガス・CO警報器

● 売上高推移

(単位：百万円)



9,243 百万円 -2.3 %

▶ 海外市場における米国向け電池式メタン警報器の販売は好調に推移しましたが、国内市場向け家庭用警報器及び海外向け警報器用ガスセンサの販売減少により、売上高は9,243百万円(前年同四半期比2.3%減)となりました。

火災による死者を減らすために

当社は、火災による死者を減らしたいという想いで、ガスセンサ技術を応用することで火災をより早くお知らせする、一酸化炭素検知機能付き火災警報器を開発しました。2006年に国内で初めて開発^{※1}し、以来改良を重ね、昨年9月には新商品「PLUSCO」を発売。現在、拡販に注力しています。

※1 東京ガス株式会社と共同開発

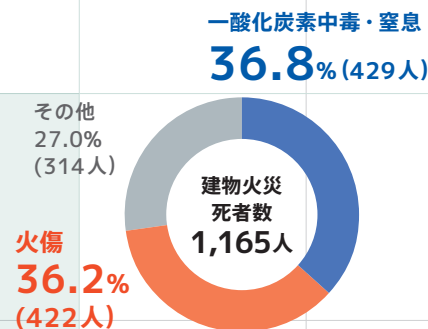
火災における一酸化炭素検知の重要性

住宅用火災警報器の設置義務化から10年以上が経った現在も、建物火災で毎年1,000人以上^{※2}の方が亡くなっています。

その原因の一つと考えられるのが、「建物火災による死因の約4割が一酸化炭素中毒によるもの」とあるという点です(右図)。一般的な火災警報器は煙を感知するものですが、火災の種類によっては煙より早く一酸化炭素が発生するケースがあります。一酸化炭素は毒性が強いガスである上、無色無臭で人の五感では気づくことができません。気づかず吸引し続けると、一酸化炭素中毒に陥り身体が動かなくなり、逃げ遅れてしまう危険性があります。また、わずか1% (10,000ppm) でも数分で死に至るため、できる限り早く発生に気づくことが大切です。

※2 出典：消防庁「令和4年版 消防白書」(令和3年中)

建物火災の死因別死者発生状況^{※2}



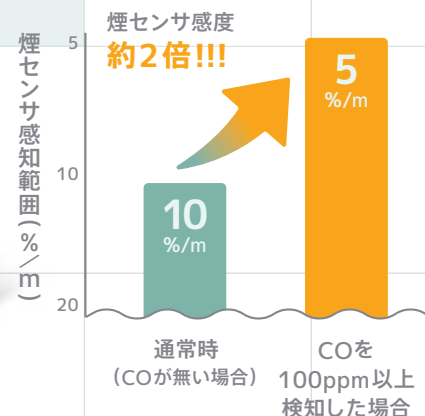
より早く火災をお知らせする火災警報器の開発



煙センサに加え、一酸化炭素センサを搭載した新しい火災警報器です。一酸化炭素100ppmを検知すると一酸化炭素注意報でお知らせするとともに、煙センサの感度を高め、火災警報をより早く発報する機能(CO反応式)を搭載しています。



CO反応式のしくみ



◆◆◆ キーパーソンメッセージ ◆◆◆



リビング営業本部
開発営業部
大和 功

ブラシオ PLUSCOの販売拡大に向けて

従来当社の火災警報器は、家庭用ガス警報器の販売でお付き合いのあるガス事業者様を通じての販売のみでした。ブラシオをより多くの方に手に取っていただきやすい環境を整えたいと考えていたところ、家電量販店やホームセンターなどにネットワークがある株式会社山善様に提案する機会をいただきました。山善様からいただいた第一声が、「これは本当に命を救える火災警報器だ」というものでした。山善様をはじめ、家電量販店やホームセンターの多くのバイヤーの方にも「火災から一人でも多くの命を救いたい」という当社の想いに強く共感いただき、店頭展開が実現しました。2023年8月に山善様と共同で「もっと早く、火災を見つける。」プロジェクトを発足し、両社の協力関係をより強めながら積極的にブラシオの拡販に取り組んでいます。またブラシオの認知度アップのため、積極的なプロモーション展開も予定しています。

住宅用火災警報器の設置義務化から今年で12年が経過しました。火災警報器の交換目安は10年であり、すでに交換のタイミングとなっています。ブラシオを普及させ、火災から一人でも多くの命を救いたいと考えています。



「もっと早く、火災を見つける。」プロジェクトを発足

＋ 火災実験室「PLUSCO Lab.」開所

2023年5月、兵庫県三木市に火災実験室「ブラシオラボ」を開所しました。ブラシオラボは、実際の火災の様子を見て、一酸化炭素の危険性やブラシオの有効性について学ぶことができる実験室です。小学生をはじめ多くの方にお越しいただくことで、ブラシオを普及させ、火災死亡者低減に貢献します。



PLUSCO Lab.



西脇市こどもプラザの児童館事業で、小学生の皆さんに見学にお越しいただきました
(2023年8月)

Vol.8

飲食店等での一酸化炭素中毒事故をなくすために

近年、飲食店や宿泊施設などの業務用厨房で一酸化炭素中毒事故が度々発生しています。業務用厨房で一酸化炭素中毒事故が発生した場合、客席などの多くの利用者へ被害を及ぼす可能性があり、経済産業省から注意喚起が出されています。業務用厨房では、大型のオープンやコンロなど火力の強い燃焼機器が多く使用されており、換気不足により不完全燃焼が起こりやすい環境であることが要因として挙げられます。また排気口の目詰まりなど機器の不具合による排気不良で不完全燃焼が起こる事例も多く発生しています。

このように一過性の一酸化炭素が発生しやすい環境であるため、家庭用として使用されているタイプの一酸化炭素警報器では、度々警報をしてしまいます。そのため、警報器のコンセントを抜いてしまい、いざという時に警報せず事故を防ぐことができないという課題がありました。

このような事故を防止するために、当社は業務用厨房に適した性能をもつ「業務用換気警報器」を開発。一過性の一酸化炭素では警報（早鳴り）せず、血中の一酸化炭素ヘモグロビン濃度[※]を推定し、人体に危険な濃度を検知した際に警報します。

※ 赤血球中のヘモグロビンと一酸化炭素が結びつき形成される。濃度が上昇すると頭痛やめまいからはじまり、最悪の場合死に至る。

業務用換気警報器
CL-425G



業務用換気警報器は、2006年頃から大手ガス事業者を通じて業務用厨房へ無償配布されるなど普及が推し進められました。また、大手の飲食チェーン店でも採用されるなど数多く普及し、業務用厨房における一酸化炭素中毒事故防止に貢献しています。

一酸化炭素中毒は、冬キャンプ等での事故の他、火災の死因で最も多い割合を占めているなど、身近なところでも注意が必要です。当社は今後も一酸化炭素を検知する検知器・警報器の提供を通じ、一酸化炭素中毒事故防止に貢献してまいります。

トピックス

台湾に現地法人を設立

2023年7月、台湾に現地法人「台湾新宇宙電機股份有限公司」を設立しました。当社は1996年に台湾に技術サービスセンターを置き、2000年には台湾事務所に改組、台湾における営業支援を行ってきました。今後も台湾を中心に半導体市場の拡大が見込まれることから、現地法人化により販売体制を強化し、より一層積極的に販売活動を行っていきます。

経済産業省こどもデーに参加

2023年8月に経済産業省本省で開催された「経済産業省こどもデー」に参加しました。経済産業省が夏休みの小・中学生や幼児を対象に社会について広く知ってもらうことを目的に開催しているイベントで、当社は2018年からほぼ毎年出展しています。ガスの特性を学べる体験型展示や、一酸化炭素検知機能付き火災警報器「PLUSCO（プラシオ）」の紹介を行い、多くの親子連れの皆様にご好評いただきました。

台湾現地法人の概要

会社名	台湾新宇宙電機股份有限公司
代表者の役職・氏名	董事長／総経理・王 宏仁 (Hungjen Wang)
資本金	1億台湾元 (約4億4千7百万円)
出資	新コスモス電機(株) 100%
所在地	台湾新竹市
事業内容	産業用ガス検知警報器、 家庭用ガス警報器の輸入・販売
従業員数	8名 (非常勤取締役含む)



「経済産業省こどもデー」の様子

Pick up!

注 目 製 品

義務化がスタートするアルコール検知器の拡販に注力

飲酒運転による事故件数は度重なる厳罰化で減少傾向にあるものの、昨年は120人[※]の方が亡くなるなど、悲惨な事故は後を絶ちません。道路交通法施行規則が改正され、2022年4月からアルコールチェックの義務化対象の事業所が拡大。さらに2023年12月からはアルコール検知器によるチェックが義務化されます。グループ会社のフィガロ技研が2010年に発売し、運送・航空業界を中心に累計5万台以上を販売したアルコール検知器「フーゴシリーズ」を当社でも2022年から取り扱い開始。「フーゴシリーズ」は、高精度な電気化学式センサを搭載し、誤検知が少ない点が特長です。新たに義務化対象となった幅広い業界に向け、法令改正の内容やアルコール検知器の選び方を解説したセミナーを実施するなどの取り組みを通じて、拡販に注力しています。今後も飲酒運転撲滅に向け、積極的な活動を行ってまいります。

※警察庁発表

表紙で紹介しています

アルコール検知器
フーゴスマートBt(+アプリ) FALC-31ap



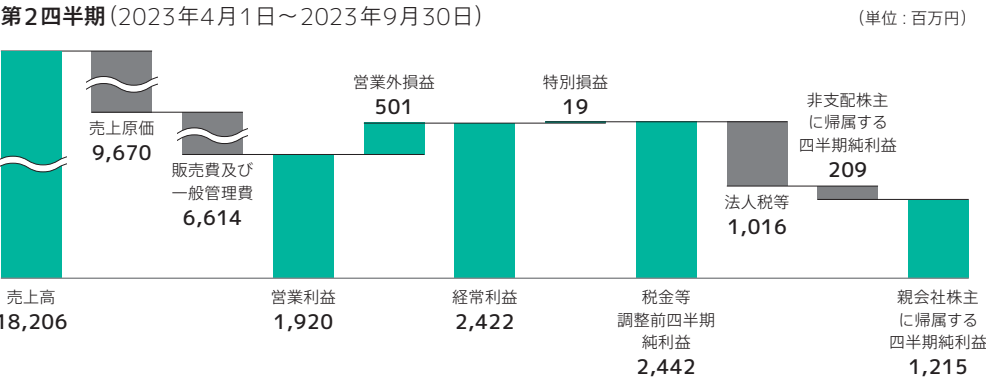
インダストリー営業本部 営業計画推進部
西村 真

決算のポイント

連結貸借対照表の概要



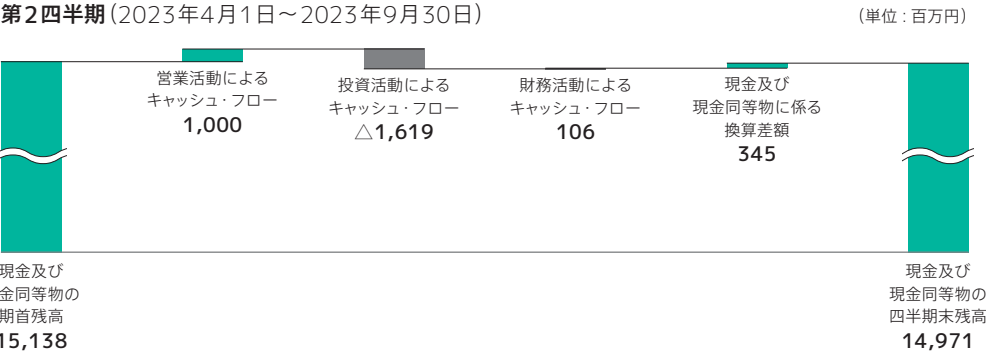
連結損益計算書の概要



前年同四半期との比較

売上高は前年同四半期比1.0%増、経常利益は前年同四半期比32.6%減となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比37.6%減となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要



キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動及び財務活動において増加したものの、投資活動において減少し、前連結会計年度末に比べ167百万円減少して14,971百万円(前期末比1.1%減)となりました。

会社概要・株式の状況

会社概要

(2023年9月30日現在)

社名	新コスモス電機株式会社
本社	〒532-0036 大阪府大阪市淀川区三津屋中2-5-4
設立	1960年6月15日
資本金	1,460百万円
従業員数	連結：948名、単体：467名
主要商品	家庭用ガス警報器 都市ガス警報器／LPガス警報器／CO警報器／ 住宅用火災警報器 等 工業用定置式ガス検知警報器 一点式・多点式ガス警報器／無線ガス検知部／ 濃度表示機能付きガス検知部／一体型ガス検知警報器 等 業務用携帯型ガス検知器 可燃性ガス検知器／酸素濃度計／毒性ガス検知器／ 複合型ガス検知器 等 その他 ニオイセンサ／換気扇コントローラ／鉄粉濃度計 等

役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長	高橋 良典
取締役副社長執行役員	松原 義幸
取締役常務執行役員	金井 隆生
	西上 佳典
取締役上席執行役員	服部 雅夫
	村田 泰造
	前川 正利
	小柳 章
取締役	宇高 利浩
社外取締役	手島 肇
	廣田 博清
	柳澤 有廣
常勤監査役	飯森 龍
社外監査役	山岸 和彦
	林 紀美代

株式の状況

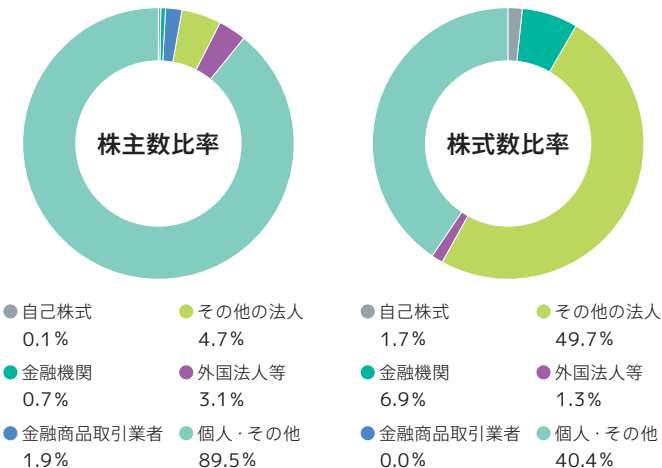
(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	12,561,000株
株主数	976名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
岩谷産業株式会社	3,452	27.95
新コスモス電機取引先持株会	589	4.77
有限会社アール・ケイ	572	4.63
笠原 美都子	475	3.85
新コスモス電機従業員持株会	467	3.78
大阪瓦斯株式会社	442	3.58
第一生命保険株式会社	385	3.12
齋賀 優子	371	3.01
重盛 徹志	326	2.64
リンナイ株式会社	251	2.04

(注) 1. 持株比率は自己株式(208,227株)を控除して計算しております。
2. 発行済株式の総数には自己株式(208,227株)を含んでおります。



企業理念

経営理念 ―コスモス スピリット―

1. コスモスは、未来を自らの手で創る人々の集団である。
2. コスモスは、現状に満足することなく、常に未知の可能性に挑戦する創造と向上の精神を尊重する。
3. コスモスは、関係する全ての人々の利益を尊重し、全員の衆智によって経営される。
4. コスモスは、社員に自己の適性に応じた価値ある仕事と成長していく実践の場を与える。
5. コスモスは、常に価値ある商品を生み出し社会生活の向上に貢献する。

コスモスの使命

「コスモスはセンサテクノロジーで、安全・安心・快適な環境創りに貢献する」

社是

「自主・自力・創造・執念・感謝」

株主メモ



証券コード：6824

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、官報に掲載します。 公告掲載アドレス： https://www.new-cosmos.co.jp/

- [ご注意] 1. 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いさせていただきます。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

（ご案内）少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

なお、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまは「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。



みんなでシェアして、低炭素社会へ。
新コスモス電機株式会社は、Fun to Share!に賛同しています。